

病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ニセナシサビダニ No.5)

令和元年6月26日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

6月下旬現在、ニセナシサビダニの発生時期は平年並、発生量は少ない。

2. 情報の根拠

- (1) 6月中旬現在、県予察ほ場におけるニセナシサビダニの葉当たり個体数は13.0頭（平年：1,491.3頭）で、発生量は少ない（表1）。
- (2) 向こう1か月の気象予報から、平年に比べやや少ないと予想される。

表1 ニセナシサビダニの発生活消長（園芸試験場）

月・旬	本年	平年
5・上	2.6	2.6
5・中	6.6	10.1
5・下	42.4	80.7
6・上	49.6	458.4
6・中	31.0	1,237.7
6・下	13.0	1,491.3

注) 殺ダニ剤無散布ほ場、1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 密度増殖が著しい種（ハダニ類、サビダニ類など）は、発生初期の防除（初期密度の低い時点での防除）が重要である。また、ニセナシサビダニ被害の多少は新梢停止期の早晩の影響が大きい。
- (2) 新梢の停止期が遅く、ニセナシサビダニの被害が増加するような場合は、追加防除を行う。

(参考)

防除区（5月23日・6月13日にハチハチフロアブル2000倍液を散布）におけるニセナシサビダニの発生活消長

表 ニセナシサビダニの発生活消長（園芸試験場）

月・旬	防除区	無散布区
5・上	5.2	2.6
5・中	1.2	6.6
5・下	106.6*	42.4
6・上	0.2	49.6
6・中	0*	31.0
6・下	0	13.0

注) 1葉あたり寄生個体数（3樹10葉調査）

*：防除前のニセナシサビダニの密度

要約：6月下旬現在、防除区のニセナシサビダニの発生密度は低い。